

令和8年4月22日

重症熱性血小板減少症候群（SFTS）患者の発生について

県内において、今年初めて重症熱性血小板減少症候群（SFTS）患者が確認されました。（70歳代女性、宇和島保健所管内在住。2013年3月の届出開始以降、県内57例目（うち県内在住者53例目））

この疾患は、病原体を保有するマダニに咬まれることによって起こる感染症であり、マダニの活動が活発となる春から秋にかけて患者が増加する傾向にあります。

マダニは、シカやイノシシなどの野生動物が生息する環境のほか、民家の裏山や裏庭、畑などにも生息していることから、屋外でのキャンプやハイキング、農作業や草刈り、山中での作業（山菜採りや狩猟等）を行う場合には、マダニに咬まれないよう予防策を徹底することが重要です。

これから夏場を迎えると、屋外で活動する機会が増えることから、マダニに咬まれないための予防策の周知について、御協力をお願いします。

1. 県内の発生状況

| | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | 2024年 | 2025年 |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| SFTS（人） | 2 | 2 | 4 | 3 | 6 | 8 |
| （うち死亡数） | （0） | （0） | （2） | （1） | （2） | （0） |

2. 感染予防策等について

マダニに咬まれないことが重要です。

- ◆ 森林や草むらなど、マダニの生息する場所に入る際は、長袖・長ズボン、足を完全に覆う靴を着用し、できるだけ肌を露出しないようにしましょう。また、防虫スプレー（ディート含有）を肌の出る部分や襟、袖、裾などに噴霧することも効果的です。
- ◆ 屋外活動後はマダニに刺されていないか確認しましょう。吸血中のマダニに気がついた場合は、無理に引き抜いたりせず、医療機関で処置してもらいましょう。
- ◆ 飼い犬等にマダニが付着する可能性があるため、散歩から帰ったらブラッシングしてマダニがついていないか確認し、犬小屋等はよく掃除をして常に清潔に保ちましょう。
- ◆ マダニに咬まれた後に発熱等の症状があった場合には、速やかに医療機関を受診してください。

3. 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の潜伏期間及び症状について

【潜伏期間】マダニに咬まれてから6日～2週間後に発症

【症状】発熱、嘔吐、下痢、腹痛など

4. 相談窓口

感染に不安のある方は、各保健所の相談窓口にご相談ください。

| | |
|-----------------------|----------------------|
| 四国中央保健所（0896-23-3360） | 西条保健所（0897-56-1300） |
| 今治保健所（0898-23-2500） | 中予保健所（089-909-8757） |
| 八幡浜保健所（0894-22-4111） | 宇和島保健所（0895-22-5211） |
| 松山市保健所（089-911-1815） | |

【参考ホームページ】

- ◆ 愛媛県「重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の注意喚起について」
<https://www.pref.ehime.jp/page/17803.html>
- ◆ 愛媛県感染症情報センター「重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の発生状況」
<https://www.pref.ehime.jp/site/kanjyo/6819.html>
- ◆ 厚生労働省「重症熱性血小板減少症候群（SFTS）について」
<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000169522.html>

マダニによる感染症にご注意！



マダニによる感染症が**春季以降増加**します。
マダニに咬まれないように注意しましょう！



マダニとは？

- ✓ 森林や草地などの屋外に生息する比較的大型のダニです。
(吸血前3~8mm、吸血後10~20mm)
- ✓ シカ、イノシシ、野ウサギなどの**野生動物が出没する場所に多く生息**しています。
- ✓ マダニの多くは、春から秋にかけて活動が活発になります。
- ✓ **飼い犬等がマダニを付けて持ち帰る**こともあります。
※犬や猫からマダニを介さずに直接SFTSウイルスに感染した事例も報告されています。
- ✓ 皮膚の柔らかいところ(わきの下、足の付け根、手首、膝の裏、胸の下、頭など)を探して咬みつきます。
- ✓ 咬まれると、**重症熱性血小板減少症候群(SFTS)**や**日本紅斑熱**などの感染症になることがあります。



キチマダニ(吸血前)
愛媛県立衛生環境研究所



キチマダニ(吸血中)
国立感染症研究所

重症熱性血小板減少症候群(SFTS)とは？

【潜伏期間】

- マダニに咬まれてから6日~2週間後に発症

【症状】

- **発熱**、嘔吐、下痢、腹痛など
- 重症化し、死亡することもあります。
(県内の報告では、**56人中14人死亡** ※R8.4.1現在)
- **マダニの刺し口が見つからないこともあります。**



刺し口

日本紅斑熱とは？

【潜伏期間】 マダニに咬まれてから2~8日後に発症

【症状】 頭痛、発熱、倦怠感など

マダニに咬まれたら！！

- ✓ マダニに咬まれても、痛みや痒みは少なく、気付かないこともあります。
- ✓ 吸血中のマダニに気づいたら、**手でつぶしたり、無理に引き抜いたりせず、医療機関で処置**しましょう。(犬についたマダニも手でとらないで！)
- ✓ 野山に出かけた後に熱などの**症状が出たら、速やかに医療機関を受診**してください。

マダニに咬まれないために！



帽子

首にタオル

長袖

袖口を手袋の中に

長ズボン

ズボンを靴下の中に

靴

- ✓ 防虫スプレー(ディート含有)を、肌の出る部分や襟、袖、裾などに噴霧
- ✓ 帰宅後は上着類を家の外で脱ぎ、すぐに入浴してマダニに咬まれていないか確認！

ペットもマダニ対策を！



- ✓ 飼い犬等の散歩後はブラッシングし、マダニが付いていないか確認！
- ✓ 獣医師と相談のうえ、定期的に**マダニ駆除剤**を使用
- ✓ 犬小屋等はずっと清潔に！

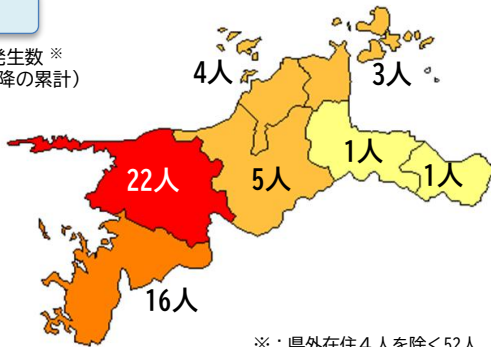


発生届出状況 (南予と中予に多い!)

➤ SFTS及び日本紅斑熱の患者は南予と中予に多いですが、西日本で広く発生していますので、**県内全ての地域で注意が必要**です。

SFTS

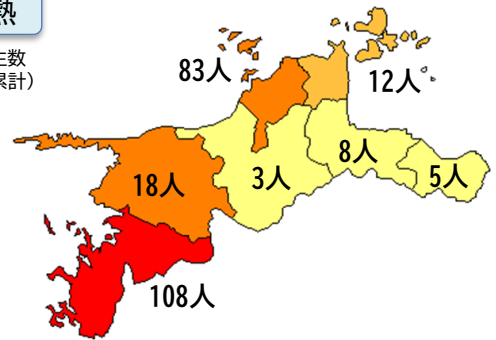
県内居住地別発生数 ※
(2013年3月以降の累計)



※：県外在住4人を除く52人

日本紅斑熱

県内居住地別発生数
(2006年以降の累計)

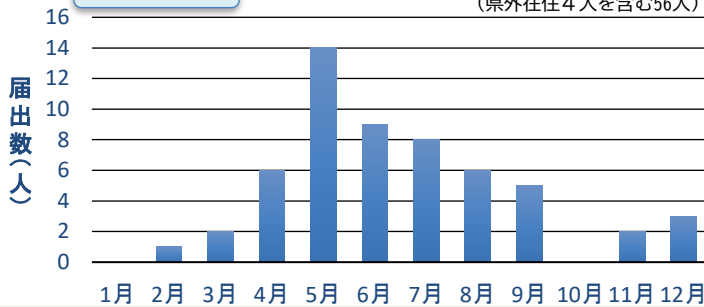


発症月別状況 (春から秋にかけてが要注意!)

➤ マダニの活動が活発な**春から秋にかけての発症が多い**ですが、冬季にも発生しています。

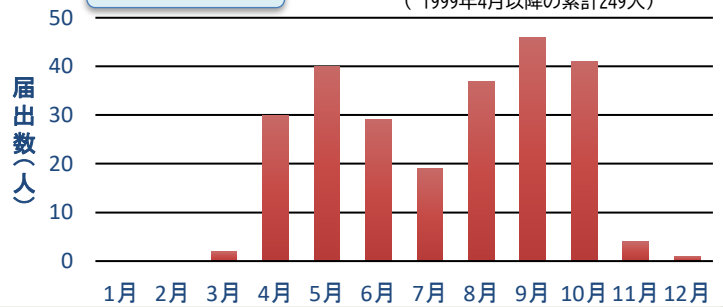
SFTS

(県外在住4人を含む56人)



日本紅斑熱

(1999年4月以降の累計249人)

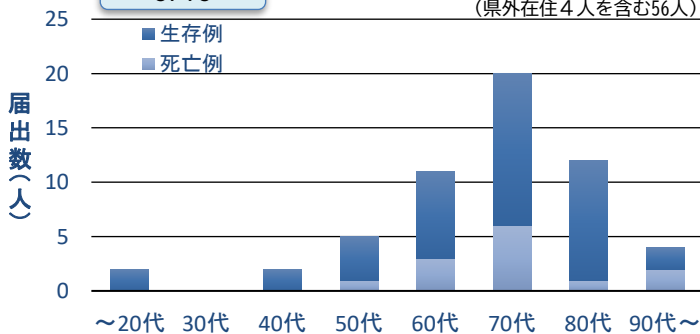


発症年代別状況 (50代以上が多い!)

➤ 患者は**50代以上が多い**ですが、20代以下の患者も発生しています。

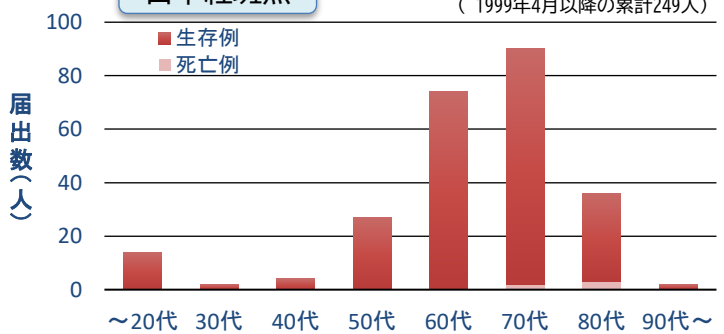
SFTS

(県外在住4人を含む56人)



日本紅斑熱

(1999年4月以降の累計249人)



マダニによる感染症に関する相談窓口

月~金(祝日を除く) 9時~17時

| 地区 | 保健所名 | 課名 | 電話番号・所在地 | 管内市町 |
|----|---------|-------|--------------------------------------|-----------------------|
| 東予 | 四国中央保健所 | 保健課 | TEL 0896-23-3360 四国中央市三島宮川4丁目6-55 | 四国中央市 |
| | 西条保健所 | 健康増進課 | TEL 0897-56-1300 西条市喜多川796-1 | 新居浜市、西条市 |
| | 今治保健所 | 健康増進課 | TEL 0898-23-2500 今治市旭町1丁目4-9 | 今治市、上島町 |
| 中予 | 松山市保健所 | 保健予防課 | TEL 089-911-1815 松山市萱町6丁目30-5 | 松山市 |
| | 中予保健所 | 健康増進課 | TEL 089-909-8757 松山市北持田町132 | 東温市、伊予市、久万高原町、松前町、砥部町 |
| 南予 | 八幡浜保健所 | 健康増進課 | TEL 0894-22-4111 八幡浜市北浜1丁目3-37 | 八幡浜市、大洲市、西予市、内子町、伊方町 |
| | 宇和島保健所 | 健康増進課 | TEL 0895-22-5211 宇和島市天神町7-1 | 宇和島市、松野町、鬼北町、愛南町 |